

まずは 友だちに なろう

ある日、日曜学校の
クック先生が 言いました。
「ねえ、みんな。まだ、
イエス様が 最高の 友だちに
なれるって 知らない 人を
知ってる？」

そうだ、あの^こ子が いる。

先生は、少し 考える 時間を くれました。
しばらく すると、先生が 言いました。
「もしかしたら イエス様は、あなたが
その人の 友だちに なるのを 望んでおられる
かも しれないわ。だれかに イエス様のことを
知ってもらうには、まず 友だちに なることが
大切だもの。」

リッキーは、わたしたちの 小さな 農村に 来たばかりで、まだ 友だちが
いません。どうして リッキーのことを 知ったかという、わたしたちは 学校で
同じ 2学年の 同級生で、乗っている スクールバスも 同じだからです。

それで、クック先生が その質問を した時、わたしは すぐに リッキーのことを
思い出したのです。わたしは 祈りました。「イエス様、どうか、わたしが リッキーの
友だちに なれますように。彼が イエス様を知る 手助けが したいです。」



その 何週間か 前、わたしは たん生日の プレゼントに、
あざやかな 色の ヨーヨーを もらいました。わたしは、
それが すごく 気に入ってました!

次の 登校日、リッキーが スクールバスに 乗ってくると、
わたしは この 新しい 同級生と 知り合いに なろうと 思い、
彼が となりに すわれるように、席を 空けて 言いました。
「おはよう、リッキー!」

「おはよう、クリスティ。」 そう 言って、リッキーは となりに 座りました。
「リッキー、わたしの ヨーヨー、見たい?」
「うん!」 それで、リッキーは ヨーヨーを すぐに やってみました。



でも、バスの 中は せまくて、ヨーヨーで 大したことは できません。「学校に 着いたら、
最近 わたしが 学んだ 技を 見せてあげる。もう、『アラウンド・ザ・ワールド』と
『犬のお散歩』が できるのよ。」 そう 言うと、リッキーは 感心しました。

イエス様は、わたしの 祈りに 答えるために、ヨーヨーを 用いてくださったのです。

学校に 向かう バスの 中で、わたしたちは 交代で
ヨーヨーを やりました。「リッキーは、イエス様のこと
知ってる？」と、わたしは たずねました。

「ううん、よく 知らない。」と リッキーは 答えました。
「知っていないのかな？」

「本当に 知りたくなると 思うわ。」

「どうしてだい？」と、リッキーが たずねました。こんな
ことを だれかに たずねられたのは、初めての ことです。
それで、わたしは ちょっと 考えました。

「イエス様は、すごく いい 友だちだからよ。きっと
リッキーも、友だちに なりたくなると 思うわ。」と、
わたしは リッキーに 答えました。

次の 日曜日、リッキーの お母さんが、小さな 町の
教会まで、リッキーを 車で 送ってくれました。それで
リッキーも、日曜学校に 加わることが できました。

3年が 過ぎ、日曜学校に 通っていた わたしたちは
みんな、イエス様のことを もっと よく 学びました。夏が
来て、日曜学校に 通っていた 子供たちのために、特別な
サマーキャンプが 行われました。リッキーも わたしも、
ほかの 何人かの 同級生たちと いっしょに 参加しました。



夜^{よる}になると、みんなで キャンプファイヤーを 囲^{かこ}んで すわりました。
キャンプの リーダーが、火^ひの そばへ 行^いって 松ぼっくり^{まつぼっくり}を 投^なげこみました。
松ぼっくり^{まつぼっくり}が パチパチと 音^{おと}を 立^たてて 割^われながら 燃^もえると、リーダーが
言^いいました。「イエス様^{さま}が してくださ^さった ことについて、みんなに 話^{はな}したい
こと^{こと}が ある人^{ひと}は、松ぼっくり^{まつぼっくり}を 火^ひに 投^なげ入^いれるのよ。それから、話^{はな}してね。」

すると、おどろいた こと^{こと}に、リッキーが 前^{まえ}に 出^でました。松ぼっくり^{まつぼっくり}を 火^ひに
投^なげ入^いれると、こ^こう 言^いったのです。「ほくが イエス様^{さま}のことを 知^しったのは、
何年^{なんねん}か 前^{まえ}に、友だち^{とも}の クリスティが 教^{おし}えてくれたからなんだ。それが、
とても うれしいです!」

それで、わたしも すごく うれしく なりました!
イエス様^{さま}のことを 知^しるように、わたしが リッキーを
さそ^{かれ}ったことを 彼^{おほ}が 覚^{おぼ}えていて くれたなんて、
思^{おも}っても いま^{いま}せんでしたから。彼^{かれ}が 言^いったこと^{こと}で、
わたしは とても 光栄^{こうえい}に 感^{かん}じました。

それから 長^{なが}い 年^{とし}月^{つき}が 過^すぎましたが、
わたしは 今^{いま}でも、友だち^{とも}を 作^{つく}っては、
イエス様^{さま}が 彼^{かれ}らの 友だち^{とも}に なりたい
こと^{こと}を 話^{はな}しています。

だれ^{だれ}かが イエス様^{さま}を 知^しるのを
助^{たす}けることは 簡単^{かんたん}です。まず、
友だち^{とも}に なれば いいのです。